

■日程 11月11日(金)

■場所 鴨川市役所4階大会議室

■参加人数 61人(区長等7人、一般市民28人、一般傍聴職員14人、市議会議員12人)

質問(要旨)	回答者	回答(要旨)
1 【公民館の再編方針について】 今の公民館を利用している年齢のニーズを把握しながら、これからの短期方針、長期方針を考えてほしい。3年はあつという間。あと5年か6年延ばすことはできないか。できれば、短期方針を令和10年、長期方針を令和16年にさせていただきたいと要望する。	生涯学習課長	原案が成案となれば、早急に現在公民館を利用している団体の皆様に、どういう施設を今後使いたい、どういう時間帯に活動したいかというようなことを細かく意向調査し、皆様のご意向、ご要望を把握した上で、今後どういう形で活動していきたいかを調整いたします。その時に、どのような状況・年齢の方が活動しているかも細かく聞きながら利用調整をしたいと考えています。短期方針は今のところ3年以内に行うということになっているので、そのスケジュールでこれから進めてまいりたいと考えております。
	管財契約課長補佐	短期方針で廃止すると掲げている3館については、耐震、安全性が十分確保できないというところで、早急に対応していかなければならず、短期方針の目標期間を3年以内に設定しております。また、短期方針、長期方針すべてを延ばしてというようなお話については、公民館に限らず、すべての公共施設の適正配置について進めていかなければならないといった状況で、実際に現在ほとんどの公民館が40年以上ということ、かなり老朽化が進行しております。長期方針としている10年としても、もう50年以上建物が建っている中で、将来を見据えた中での更新計画を立てていかなければならないのでご理解をいただきたいと思っております。
2 【市民会館、市民ギャラリーの必要性について】 数年前に市民ギャラリーがなくなる時に、市民懇談会で質問したが、その時の回答で、ギャラリーは郷土資料館で代用できるという回答をいただいた。作品をただ展示するという目的であればそれでもいいが、美術作品を展示するには、本格的なギャラリーの施設が欲しいと感じた。市民には福祉や医療も必要だが、その前に健康で精神が充実する市民生活には、市民会館や市民ギャラリーは必要ではないかと思う。	生涯学習課長	文化芸術というのは、市民の生活にとっても非常に重要な潤いをもたらすものとして認識しております。市民ギャラリーに替わる施設、機能を備えた施設をすぐに準備するのは現状では難しい状況であり、それを補う上でも、郷土資料館の展示室を無料で使用できるよう対応しておりおます。展示施設も、決して市民ギャラリーほど広くはありませんが、ギャラリーの展示室に劣らない展示状況は提供できます。常時市民の方にご利用いただくことはできませんが、スケジュールを調整して、なるべく多く使ってもらおう努めております。この状況の中で、なるべく市民の方に芸術文化に触れていただく機会を提供できるように努めてまいります。
3 【地域排水の解消について】 主基・吉尾・大山地区を統合し長狭中学校が開設された際、その敷地にかかっていた3軒が、道路の反対側に移転された。結局、生活排水の下水が未だ3軒分整備されていない状況。昭和45年以降、U字溝を並べる分のスペース60m位は、ずっとそのまま空けてある状態なので、U字溝分の予算を何とかしていただけないか。	都市建設課長	50年ほど前のお話ということで、地域排水の問題かと思っております。まずは現地を確認させていただきたいと思っております。

	質問(要旨)	回答者	回答(要旨)
4	<p>【市民会館の整備について】 市民会館の建設について、現在、どの程度の道筋がたっているのか。医療・病院も大切だが、文化・芸術も立派な人間活動として必要なので、良い美術館等を作るような道筋をお願いしたい。</p>	企画総務部長	市民会館の整備につきましては、道筋をつけるため、具体的な整備方針等の検討を行うこととしております。現在の状況は、これまで下調査を進めており、具体的な進め方を決定したところです。庁内横断的なプロジェクトチームにより、近隣施設の現況など踏まえ、求められる施設の整備水準やイニシャル及びランニングコスト、財源などについて検討を進めてまいります。歩みの方は決して早いものではありませんが、着実に検討を進めたいと考えております。
5	<p>【市民会議について】 数年前に、鴨川市民会議をやったかと思うが、こういう会議は今後もやっていく計画があるか。今年初めに「鴨川市公共交通計画」という市の施策が発表され、その中に市民会議の中で市民から出た意見として、市民が誰も言っていないことが書いてあった。計画をまとめたのは誰なのか。これが市の施策になっているということはおかしいのではないか。</p>	企画政策課長	市民会議については、令和3年度から7年度までを期間とする5か年計画の策定にあたり開催した会議であり、4つの分科会にわかれて具体的に市民提案事業を取りまとめていただきました。今後、市民提案事業の進捗をまとめ、市民会議に参加した皆様のご意見を伺う機会を設けていきたいと考えています。次期5か年策定計画については、令和6年度から開始をしていく見込みですが、その際に今回と同様の市民会議を開催するかということは決まっておられません。ただ、市民の皆様のご意見を頂くというプロセスはどうしても必要なので、意見を伺う機会は設けていきたいと考えております。特に不整合が生じている部分については、この後個別に、具体的に聞かせていただきたいと思います。なお、この計画は、当時の担当である経営企画課の担当職員、それと市民まちづくり会議コーディネーターの方々に参加をいただき、取りまとめの作業を行っていただきました。
6	<p>【市民会館の具体的な道筋について】 市民会館の建設を要望するのは、令和2年に12,626筆の署名をもって前市長にお願いした。令和3年に市長が変わり改めて要望したが、どのような先を見通しているのか教えていただきたい。</p>	企画総務部長	市民会館の検討の進め方については、庁内の検討プロジェクトチームで近隣施設等の状況を踏まえ、内容を検討していきます。その中で、建設する場合の整備水準、規模、機能の検討を進め、その規模に応じどのくらいの建設コストがかかるのか、またどの程度の年間維持費ランニングコストがかかるのかというようなこと、また本市は非常に財政状況が厳しく、その辺の照らし合わせを行いながら、検討を進めていくといったようなことで考えております。
7	<p>【市民のマンパワーが活用される市政運営のあり方について、景観条例の必要性について】 施策や課題、財政面なども聞かせていただき、マンパワーがあると非常に感じた。もと市民のマンパワーを使うというシステムを考えたらいいのではないか。市民が陳情請願型ではなく、市民からもっと一緒になってまちづくりに貢献できるいいあり方を模索するべきではないか。森林贈与税のあり方なども知事に問い、規制条例を含んだ景観条例、環境条例作りなども必要ではないかと考えている。 そういうことを市民と担当職員の人達が入ったプロジェクトチームのようなものが作られて、その意見が反映されるというような市政のあり方はいかがか。専門的な力を持っている市民もたくさんいるので、市民のマンパワーが活用されるような市政の運営のあり方を考えていただきたい。</p>	市民福祉部長	鴨川市は自然環境に恵まれている中で、しっかりこれを守っていくということが必要です。景観条例の話もあり、様々な規制、そこに住んでいる方の権利、そういうものも十分配慮していかなければいけない、これからそういう部分はしっかりと皆様とともに考えることが必要と思っております。市民生活の中でも、しっかりと安定した生活を支えていく中でも、市民の皆様方のマンパワー、お力を借りながら進められたらなと思っております。

	質問(要旨)	回答者	回答(要旨)
8	<p>【公民館に替わる地域の活動場所、夢がもてる地域づくりについて】</p> <p>公民館の機能は実に多様で、災害時には避難場所、物資の配布場所、炊出しが行われた。行政の出先機関、地域の様々な活動の場、併せて、高齢者のサロン、子育てのサロン、またそれらを複合した多世代の交流サロンにも活用されている。今後、子ども食堂や学習支援の場としての活用もあるのではないかと考えている。旧小学校区ごとに公民館があり、それがもしなくなるのであれば、これからの活動が非常に難しい。公民館でなくてもそういった活動の基盤となる場所になるようなものを考えていただけないか。現在の公民館の設置状況を維持できないのであれば、一つの集会室、調理するスペースとトイレがあるだけで、その地域の中で一つの大きな活動の場所になっていくと思う。地域で活動している色々な方の夢、今後の思いが繋がっていく地域づくりを考えていただきたい。</p>	生涯学習課長	<p>公民館は、色々な役割、機能をもって運営されており、色々な形で地域の方にご利用いただいております。3年のうちに短期方針を終えるように進めていく形になりますが、今ご利用している方が継続して活動していただけることが基本方針となりますので、今ご利用いただいている公民館の近くに、活動目的にあった利用できる施設があればそれも活用していただけるよう、利用調整をしたいと考えています。なるべく皆が納得できるよう、色々な形で公民館の機能が確保できる、色々な施設に公民館として利用できるような方策を今後考えていきたいので、引き続きご協力いただきたいと思います。</p>